



## 日本選択理論心理学会 第26回(2017)年次大会のご案内

2017年4月1日(土)よりお申し込み開始致します  
2017年8月12日(土)~13日(日)  
会場:帝京平成大学/中野キャンパス

日本選択理論心理学会 第26回 (2017) 年次大会は、2017年8月12日 (土) ~ 13日 (日) までの2日間、東京都中野区中野にあります、「帝京平成大学」で開催されます。現役大学生の通う、新しくてきれいな大学校舎で、学生に戻ったかのように、学びや親交を深めませんか？

今大会のテーマは「選択理論を『知る』から『生かす』へ」です。知っていることと生かすこととは、似て非なるもの。せっかくの良質な知識を、「知る」にとどめておくことだけではもったいないことだと思いませんか？ 「知る」を「生かす」にできるヒントが盛りだくさんの年次大会にしたいと思っております。ハッピーな日々に向けて共にハンドルをきりましょう。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

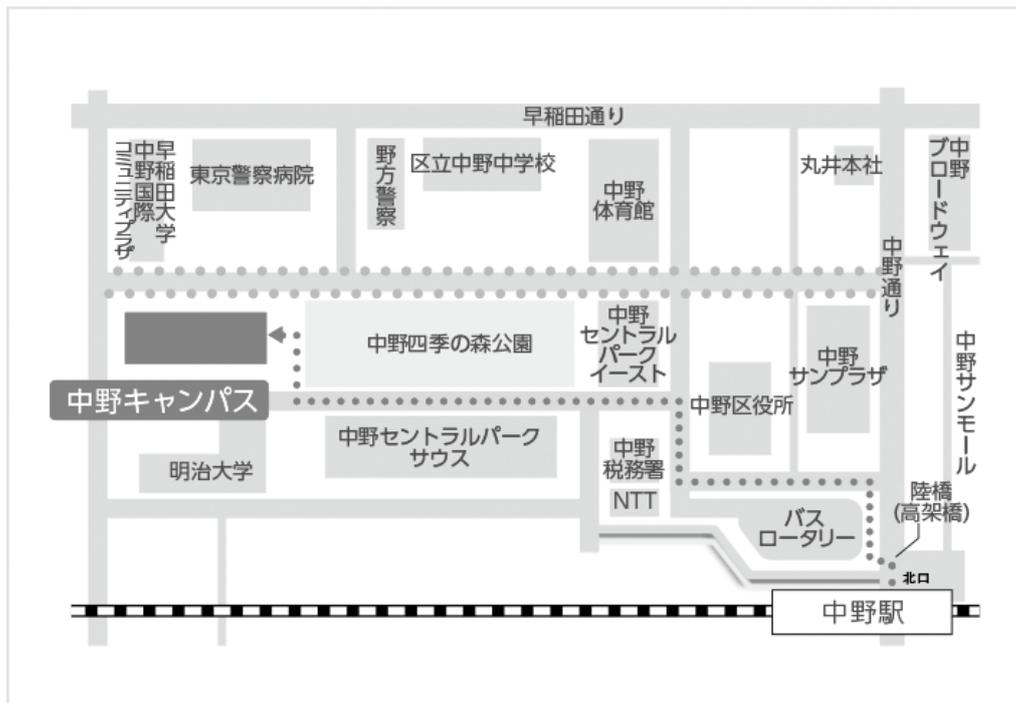
第26回 (2017) 大会委員会 (委員長: 飯島俊治 副委員長: 小松容子)

委員: 北原豊子 高橋弘美 大杖規子 早川陽子 伊藤昭彦 馬場悠輔 瀬田剛)

## 選択理論を「知る」から「生かす」へ

〒164-8530 東京都中野区中野4-21-2

<https://www.thu.ac.jp/campus/nakano.html>



■交通アクセス JR中野駅 北口から徒歩9分

## ◆大会スケジュールと発表概要◆

### 大会1日目 2017年8月12日(土)

9:30～10:00 日本選択理論心理学会総会受付  
10:00～11:30 日本選択理論心理学会 総会  
12:00～13:00 年次大会 受付  
13:00～13:20 開会式  
13:20～14:20 基調講演 柿谷正期先生  
14:20～14:40 休憩(20分)  
14:40～17:00 企画フォーラム  
選択理論を「知る」から「生かす」へ  
17:30～19:30 懇親会(大学内食堂にて)

### 大会2日目 2017年8月13日(日)

9:00～ 9:30 年次大会 受付  
9:30～10:20 分科会  
10:20～10:40 休憩(20分)  
10:40～11:30 分科会  
11:30～12:30 昼休憩(60分)  
12:30～16:00 全体ロールプレイ研修  
16:00～16:15 閉会式

## ◆分科会等のタイトルと発表予定者◆ (50音順) 変更の場合もあります

### ①リアリティセラピーにおける「ジヨハリの窓」の応用に関する一考察

伊藤昭彦

選択理論を理解し、身につけるための早道は、リアリティセラピーに基づくロールプレイに意識的に取り組むことであるが、カウンセラー役は往々にしてカウンセラーの知覚された世界の情報により、クライアントを誘導してしまうことがある。そこで、「ジヨハリの窓」を応用することにより、カウンセラーが隘路(あいろ)に陥ることを防ぎ、支援的にクライアントに対応する方法について考察してみたい。

### ②『逃げるも選択、役に立つ』～より良い選択の為の「心の体幹」づくりを目指して～

乙幡洋子

世の中には、『ポジティブ思考』『何事にもチャレンジ』は良いけど、『ネガティブ思考』『石橋を叩いて渡る性格』は良くない、そんな風潮があるように思います。本当にそうでしょうか？選択は人によって違うのではないのでしょうか？「私たちのすることは全て行動で、行動はほとんど全て選択したもの。その選択は遺伝子に組み込まれた基本的欲求を満たすため」というのが選択理論の考えです。その点を中心に、ご一緒に考えられたらと思います。

### ③学校における選択理論心理学の学びの効果

小島淳子

様々な課題を抱えた定時制高校生が、「すこやか」(総合的な学習の時間)をとおして選択理論心理学を実践的に学んだ結果、どういった変化が起きたのか。卒業生やその保護者への面接調査から得られた結果を基に、その意義を検証しつつ、今後の可能性や課題について考えます。

### ④やってみよう！選択理論でアクティブラーニング～「すこやか」授業を体験 エッセンスを体感！～

榊原久美子・小島淳子・伊藤昭彦

相模向陽館高校(定時制)に入学してきた生徒たちが、自己肯定感を高め、良好な人間関係を築き、自信をもって社会に羽ばたいてほしい…という願いとともに、学会の皆様の協力を得て、試行錯誤を重ねながら作り上げた「総合的な学習の時間」のプログラムの数々はまさにアクティブラーニング。高校の教室で実際に行った「すこやか」の授業を体験し、そこに流れる選択理論のエッセンスを体感していただきます。

### ⑤自主性育む上質な組織を目指して～新設私立高校(スポーツコース)での挑戦！～

地當亜希子・浜崎隆司

温かい人間関係の構築をベースに、学校関係者と共に同じ目的に向かって取り組んだ1年。新設の高校において、自主的に取り組むことが苦手な生徒が自らの上質世界を拓き、各自の大切なものや学習、部活動の意欲を高めるためにどのような取り組みをおこなったのか。具体的には、学校、寮の仕組みを変えられるものと変えられないものを区別し、「ビジネスコミュニケーション」という必須授業やカウンセリングの中でどのような工夫や実践を行ったのか、またその成果の一部を発表する。

⑥ある3事例を通して地域社会への適応を試みた事例～地域サービス機関を利用してつながったケース～  
東福和子

地域で孤立感を持っていた3人のクライアントのケース報告を基に、個々人の基本的欲求、上質世界を見据えながら、横のつながりを築くことを模索しました。その経過と様子、今後の見通しなどを発表します。

⑦ソーシャルワークにおける選択理論をベースにした支援についての一考察～障害者福祉分野を中心に～  
久田高裕

社会福祉の現場では高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉など分野に限らず対人援助が基本となっている。そのため業務中に面接などの相談援助業務があり、ほとんどすべての支援者は社会福祉援助技術を使用していると考えられる。発表者は2007年にリアリティセラピー基礎講座を受講後、社会福祉の現場（主に障害者福祉、児童福祉分野）で相談支援を行う際に選択理論をベースに支援を行ってきた。今回、障害者福祉の分野でソーシャルワークを行ううえで、どのように選択理論をベースに支援を行い、その効果を感じてきたのかを発表したい。

⑧乳幼児期における「レジリエンス」を高める選択理論の効果の研究

星野優美子・溝越洋子・福辺郁恵

～「もっとやってみたい」「もう一度、チャレンジしたい」気持ちを育てる環境とシステム創りをめざして～

選択理論心理学を保育所・幼稚園に伝えて8年が経ちました。その中で、長く選択理論に基づいた関わりをしてきた園は前向きに改善していく事例が多く、逆に初めて選択理論に出会った園ほど新しいことに抵抗を感じているような事例が多く見られました。この違いが何から生まれるのか、子どもたちを囲む環境やシステムを先生方がどのように変えていったことによって、子どもたちの「レジリエンス」が高まるのか、研究検証し、明確にしていきたいと思えます。

⑨選択理論から人事評価制度を考える

松坂孝紀・張宜晃・小山諒

昇給昇格を決めるという観点だけでなく、人材育成にも活用される人事評価制度は組織の人材マネジメントの背骨ともいえるべき重要なシステムである。一方で、「人事評価に対して満足しているのは2割程度」という調査結果もあり、機能不全を起こしていることも多くあるようだ。なぜ多くの社員が人事評価制度について不満と答える現実があるのか、問題点はどこにあるのか。多くの企業で運用されている人事評価制度について選択理論の観点から考察する。

(以上、敬称略)

◆お知らせ◆

■大会委員会・学会事務局は宿泊場所の斡旋・紹介は致しません。宿泊手配が必要な方は、こちらをご利用いただけます。

株式会社ADACトラベルメロディ事業部 電話：03-3362-3949

担当：長谷川 hasegawa@adac.jp.net

安田 yasuda@adac.jp.net

早めのご連絡をお願いいたします。

■集中上級講座プレゼン発表者募集 募集期間延長

集中上級講座プレゼン発表をご希望の方は、引き続き募集致しております(発表資格は、集中上級講座修了者のみ)。ご希望の方は、第26回(2017)大会委員会までご連絡ください。〆切2017年4月28日(金)原稿必着。※応募が多数の場合は、お断りさせていただく場合もございますので、ご了承ください。

■年次大会専用ウェブサイト

年次大会に関するQ&A等も掲載予定なので、ご質問やご不明な点がございましたら、まずこのサイトをご覧ください。

日本選択理論心理学会 第26回 (2017) 年次大会ウェブサイト

<http://www.jactp.com>

■第26回(2017)年次大会に関するお問い合わせ先

E-mail: choicetheory2017@gmail.com FAX: 0463-33-8807

## 第26回 (2017) 年次大会 参加申込のご案内 (参加申込用紙)

### テーマ 選択理論を「知る」から「生かす」へ

お申込みは、本申込用紙の FAX もしくは年次大会ウェブサイトよりお手続きください。

年次大会ウェブサイトからのネットでのお申込みですと大変助かります。

**年次大会ウェブサイト <http://www.jactp.com/>**

**申し込み期間 2017年4月1日 (土) ~ 2017年7月25日 (火)**

※2017年7月25日 (火) までに振込完了の方には、大会2日目のお弁当が付きます。

#### 申し込み内容 (事前参加申し込み)

- |                                |            |                                 |                             |  |  |
|--------------------------------|------------|---------------------------------|-----------------------------|--|--|
| 1                              | 年次大会参加     | <input type="checkbox"/> 学会員の方  | <input type="checkbox"/> 一般 | <input type="checkbox"/> 学生 (大学生・大学院生) |  |
|                                | 両日・一日参加ともに | 10,000円                         | 12,000円                     | 8,000円 (社会人学生の方は除く)                    |  |
| 2                              | 懇親会        | <input type="checkbox"/> 5,000円 |                             |  |  |
| (2017年7月25日 (火) 迄にお申し込みの希望者のみ) |            |                                 |                             |  |  |

振込合計 \_\_\_\_\_,000円

<p style="text-align: center;"><b>振込先はこちら</b></p> <p style="text-align: center;">※振込期限 2017年7月25日 (火) それ以後は当日受付</p>	<p>ゆうちょ銀行からお振込の方 ゆうちょ銀行 10960-24258621</p> <p>ゆうちょ銀行以外からお振込の方 ゆうちょ銀行 店名：〇九八 (読み ゼロキュウハチ) 店番：098 預金種目：普通預金 口座番号：2425862 口座名【日本選択理論心理学会 年次大会 代表 柿谷正期】</p>
---	---

## FAX送信状

ふりがな お名前		<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
ご住所	〒		
TEL		FAX	
Email		備考	

**本申込用紙の送信先FAX番号 0463-33-8807**

※ご記入いただきました個人情報、本大会の申込管理、確認のご連絡、大会に関するご案内の為に使用させていただきます。

※年次大会ウェブサイトよりお手続きなさった方は、FAX送信の必要はございません。

※大会参加費 (希望者は懇親会参加費) のお振込みをもってお申込完了とさせていただきます。1日参加でも2日参加でも同一料金となります。

※お申込み、お振込みいただいた後、大会委員会から受付完了の連絡はございません。ご不安な方は、お振込みいただいた「お振込み明細書」を当日お持ちください。